



校内研便り

昭和小
NO 4
R 2. 7. 6
研究主任

今年度の研究テーマ

自ら進んで考え、ともに学び、表現し合う子どもの育成
～みんなで学び合い、表現力の向上を図る国語科の授業づくり～



今回は、5月に引き続き高知大学教育学部附属小学校から田中元康先生に来て頂いて、研究授業（第6学年「インターネットの投稿を読み比べよう」）が行われました。

単元名 めざせ、共感を生む投稿マスター

教材名 インターネットの投稿を読み比べよう

研究授業 6年

重点指導事項：目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりすること。

<授業者より>成果◎と課題●

◎児童は、最も共感する投稿を選び交流する中で、思考することができていた。

- 観点を生かした交流の仕方や全体の交流の仕方に課題があった。
- 付箋の活用の仕方とも考えていかななくてはならない。



◎研究協議より

- ・観点を使い、共通の場を設定するとよかった。
- ・出し合いで終わらず、よりよいものを求めようとする姿を評価する。

研究協議後は、田中元康先生より『見方・考え方を働かせる授業づくり』について講話をしていただき、説明文を読む際に必要な言葉の力をつけておくことが大事だと教えていただきました。

説明文を読む際に必要な言葉の力
主語と述語・文末表現・具体と抽象・筆者の考え・段落

また、考える音読(キーワードだけ参加読み)をみんなでやってみました。

内容を「読む」ことにつながり、低学年から体を動かしながら取り組むことが出来、効果的だと思いました。

◎これから学校全体として取り組む具体的内容は、NO1 NO2を
継続して取り組んでいきましょう。

(NO1は 「書く」場の設定、ノートに自分の考えを残す、ふりかえりを書くです。)

(NO2は 単元計画の提示、言語活動モデルの作成、学習用語の統一です。)



今回で1学期の研究授業が終わりました。先生方、お忙しい中ありがとうございました。学期末には、1学期の取組の検証を行い、継続することや修正することなど精選し、2学期から学校全体で一緒に取り組めることを提案していきたいと思います。